

生長の家神の国寮だより

光の泉

the spring of light



第 25 号

令和3年度 3月号

公益財団法人 生長の家社会事業団
児童養護施設 生長の家神の国寮
〒186-0003
東京都国立市富士見台2-39-1
tel 042-572-8770
fax 042-573-9205
<http://www.kamino92.or.jp/>



卒業制作作品を持って来寮したB君（右）と服部職員（左）

明日はきっといい日になる

施設長 國弘昭義

コロナ禍の中、子ども達も職員も明るく元気いっぱい過ごしています。本年度、皆様から賜りました多くのご支援ご協力に心より感謝申し上げます。

コロナ、ウクライナ…と国内外の暗いニュースが続く日々…テレビから流れてきた一曲に心惹かれました。シンガーソングライターの高橋優さんの『明日はきっといい日になる』です。

♪明日はきっといい日になるいい日になるいい日になる
♪悲しみはいつも突然の雨のよう
♪傘も持たずに立ち尽くす日もある

♪降られて踏まれて地は固まるそこに陽がさせば虹がでるそう
♪明日はきっといい日になるいい日になる

この歌のような、悲しみの雨の日を喜びの虹の日に変えた二人の卒業生を紹介します。

幸せいっぱい結婚式

日になるいい日になるのさ
♪どの出来事も君を彩る絵の具になる
♪笑ひ合えたらいい日になるいい日になる

(抜粋引用)

2月23日の天皇誕生日の晴れの日、26歳になった卒業生のA君が結婚式を挙げました。13年前、中学2年の3学期に入所した児童です。辛い過去を抱えながらも、愛深い職員の支援によって生長し寮を巣立ったA君。高校卒業後は、東京・赤坂にある「ハリウッド美容専門学校」で美容師の資格を取得し、現在は北海道の美容院で働いています。コロナの影響で開催も危ぶま

た挙式でしたが、当日は新婦のご両親と美容室のオーナーさんや同僚の方々から温かいエールを送られ、幸せいっぱいの新郎新婦でした。神の国寮からは私と我那覇職員と二人の卒業生が参列し、お祖母様と一緒に親族席に座らせて頂きました。父とも母とも別れ別れの生活を余儀なくされてきたA君にも新しい家族ができ、守るべき家庭ができたのです。

”♪降られて踏まれて地は固まるそこに陽がさせば虹がでる”
新生活への決意を述べる彼の顔は誇らしく光り輝いていました。

♪どの出来事も君を彩る絵の具

3月10日、東京藝術大学大学院修士課程の卒業式を直前に控えた卒業生のB君が、卒業制作作品を持って来寮しました。三つ子の長男として誕生したB君は1歳半でお母さんが亡くなり、都内の乳児院、児童養護施設を経て、中学2年時に神の国寮の「樺の家」に入所してきました。辛く寂しい想いを重ねた幼少期；それでもアニメや絵を描くことが好きだった彼は、入所以来イラスト・アニメ等を楽しそうに次々と創作していきます。そんな彼に寄り添い、彼の才能を認め、日々の生活を支えてくれたのが「樺の家」の服部、茅場、佐藤職員でした。

「B君の才能はお母さんからの贈り物だと思います。母親が残してくれたスケッチブックを見たらわかります！」服部職員の見立て通り、天分は開花して、東京造形大学造形学部を経て東京藝術大学大学院修士課程の狭き門をこじ開け、努力の甲斐あって晴れの卒業の日を迎えることができたのです。

卒業作品のショートアニメと一緒に見ながらB君が発した言葉が心に染みしました。
「この作品は、お母さんが亡くなったことや施設で育ったことの負の感情などを背景に様々な想いを重ねながら創ったんだ。嫌な思いも多かった施設生活だったけど、今では施設で育ったことを開示してコミュニケーションの材料にもしているんだよ」

”♪どの出来事も君を彩る絵の具になる絵の具になるでしょう”
これから新たなステージを迎えるB君の人生に幸あれ！とエールを送りました。

”陰極は必ず陽転する”

創立者谷口雅春先生は、いかなる運命の荒波に翻弄されようとも人は皆必ず幸福になれる！と説かれています。私達は子どもに寄り添い日々の生活支援を通して、一人一人が光輝く幸福人生を創造していくことをめざし、子どもも職員も笑顔はじける”幸せ感いっぱい施設”を創っていくことを決意しています。何卒、新年度も皆様の益々のご支援ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。